

❖ 初参加された田中博子、稲本留美、坂本幸子さんの「感想コメント」を紹介します。



(千葉患者会として参加) 田中博子

1月18日の千葉あおぞら連絡会第7回総会の日に千葉ぜん息患者と家族の会が結成され、私は役員となりました。公害や患者会の活動は初めてですが、トヨタ行動はすぐに申し込みました。千葉市緑区から朝5時に起きて新宿まで行きました。豊田市まで長い道程でしたが、バスの中の交流も楽しかったです。千葉から清水、伊藤と私の3人が参加しました。往復とも大きな富士山が見えました。集会会場の公園で主催者の用意してくれた熱いお汁粉はおいしかったです。会場で名古屋南部の患者会の女性に手作りの名刺を渡しました。トヨタ本社までのデモは500人位でしたが、私は足が痛いのでバスの中にいました。これからもよろしく。

(公害問題に目を向け続けたい) 稲本留美

昨年、東京湾の現地調査に参加して、空気浄化のためには常緑樹がよいことや自転車専用道を整備して排気ガスを町から減らす試みなど、たくさんのことを教えて頂きました。総行動に即参加を決めたのは、環境を整備する取り組みの他に、公害の原因をつくった企業への責任を問うことも公害を無くす根本的な解決であると思ったからです。集会やデモへの参加が少しでも力になれば嬉しいです。トヨタへ向かうバスの中は、期待通りの中身の濃い学習の場となりました。私にとってはそのことも総行動参加の大きな理由の一つです。止まらない原発依存や地球温暖化の問題には危機感を抱きました。目を向け続けていかねばと思います。

(おかしい！声をあげ続けたい) 坂本幸子

公害や環境問題に関心が無かった訳ではありませんが、イタイイタイ病や水俣病、自動車公害など、過去の物と思っていました。環境問題では地球規模で温暖化が叫ばれ、異常気象があちこちで異常を起こしている今、本当に一人一人が考えて行かなければいけないと痛感します。

偶々公害患者と家族の会に加わっている方、二人を知っていた事もあり、参加してみようと思いました。行き車内では自己紹介があり、皆さんの立派な発言を聞き、長く闘ってこられた事が良く解り、大変勉強になりました。

公害を出した企業、原発事故を起こした東電、国は最後まで被災者の救済をするべきだと思います。体の自由を奪われたり、苦しみを味わい、未だに続いている事、原発事故では故郷を奪われ、生業を奪われ、避難者も被災者であり、救済されなければならないと思っています。

今回、世界のトヨタの利益は多くの犠牲者の上に成り立っている物であり到底許される事ではありません。夫を自死に追いやられた奥さんの話を聞いた時、やはり原子力村で殺された西村さんとダブリました。多くの犠牲を出しても利益重視しか考えない、未来を考えない、環境も考えない一部の人間が、大手を振っている日本はおかしいと声を上げ続けたいと思いました。

東京患者会総会を激励

あおぞら連絡会・吉川理事長

私は、この10年、東京大気汚染公害裁判が投げかけた意味は、医療費救済はもとより、環境再生、公害のないまちづくりなど誠に大きいものであったと実感しています。公害運動・公害総行動に与えた影響も大きいものがありました。福島原発被害者訴訟・ノーモアミナマタ・アスベスト首都圏訴訟など公害裁判が佳境に入っています。それぞれの被害者・原告・弁護団が先頭にたって闘っています。国・政治による救済制度・基金制度作れと闘っています。

患者を掘り起こし、患者会に組織し、強固な患者会にして、公害被害者の闘いの中核を担ってほしいと思います。そのことをお願いし、挨拶とします。

～ 中川環境大臣からメッセージ ～

東京公害患者と家族の会の第40回総会が2月25日、全林野会館で開かれました。この総会には中川雅治環境大臣・参院議員、井上義行参院議員、宇田川聡史自民党都議からメッセージが寄せられ、東京民医連(鈴木さん)、川崎公害患者会(大場さん)が激励あいさつ。

あおぞら連絡会総会は4月17日(18:30東京地評地下会議室)に開催されます。 